

日本キリスト者医科連盟（JCMA）静岡部会

デンマーク牧場福祉会 共催による 講演会のお知らせ

新年以来、厳しい寒さが続きましたが、暖かくなり、大地に緑があらわれ、春が訪れようとしています。

4月9日、自らが若年性アルハイマー病であることを公表された、若井晋さんを克子夫人と共に、デンマーク牧場にお招きしてお話を伺います。若井晋さんは、私たちの敬愛するJCMAの先輩であり、脳神経外科医として長年歩まれ、日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）派遣ワーカーとして、台湾でも脳外科臨床に携わりました。その後JOC Sの総主事を勤められ、ワーカーを支えつつ、自ら世界各地を歩まれ、新たなJOC Sのあり方について模索されました。特に私たちの恩師、伊藤邦幸氏のネパールでの最期のワーカーとしての歩みを見守り、アメリカで伊藤氏が脳梗塞で倒れ、天に召される時まで、共に見守って下さいました。やがて、東京大学、国際地域保健医学の教授として、これまでの脳外科医と全く異なる視点で、貧困と健康の問題に目を据えながら、海外医療協力、プライマリ・ヘルス・ケアのあり方について研究されました。

そのような多忙な活動の最中54歳（2001年）より、若井さんは、漢字が書けない異変に気づき、次第に日常生活がうまくできなくなっていることを、克子夫人、家族の皆さんの見守りの内で気づかされ、認知症になったことを、苦しみつつ受け入れられていきました。東大を任期半ばで退任し、沖縄での療養を経て、2008年4月、JCMAの機関紙『医学と福音』で公表されました。その結びの言葉として以下のように記されました。

老いゆけよ、我と共に！最善はこれからだ。人生の最後、そのために最初も造られたのだ。

我らの時は聖手の中にあり。神言ひ給う。全てを私が計画した。青年はただその半ばを示すのみ。

神に委ねよ。全てを見よ。しかして恐れるな！

(from Rabbi Ben Ezra)

以降、克子夫人と共に各地で講演活動をされています。今回、武井の司会、克子夫人の支えのもとで、若井晋さんより証言していただきます。若井さんの発する言葉は少なくなっているとのことですが、若井さんがかつて示してくださった、以下のみ言葉に支えられながら 会を開きたいと思えます。

あなたがたの中で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、わたしは確信しています。

フィリピの信徒への手紙1章6節

主よ、栄光を われらにではなく、われらにではなく、あなたのいつくしみと、まこととのゆえに、ただ、み名にのみ帰してください。

詩篇115編1節

若井晋・克子夫妻が守られますよう、よき交わりの時が与えられますようお祈り下さい。

皆様、お誘いの上ご参加下さい。

日時： 2011年4月9日（土） 午後1時半より3時半まで

場所： デンマーク牧場「ディアコニア」（特別養護老人ホーム）電話：0538-23-0380

内容： 講演会

「神に委ねよ。全てを見よ。しかして恐れるな！」

—若年性アルツハイマー病とともに生きる—

若井 晋・克子 夫妻

○袋井駅からの送迎希望の方は、12時50分に袋井駅を出て右側の郵便局前に集合下さい。

事前に、こひつじ診療所のスタッフか、武井までご連絡下さい。

○会場まで地図が必要な方はご連絡ください。ファックス（または郵便）でお知らせします。

「デンマーク牧場福祉会」のホームページにも地図が掲載されています。<http://denmark-bokuiyo.or.jp>

○当日、駐車場は、「こひつじ診療所」をご利用下さい。

JCMA静岡部会長 こひつじ診療所 院長 武井 陽一

問い合わせ先 こひつじ診療所 電話：0538-23-0660

FAX 0538-23-0661

（夜間、休日 電話090-1754-0970

留守電に メッセージを入れてください）

武井 陽一 柴田 恵子